

大田原中学校区小中一貫教育目標

「夢や希望に向かい たくましく生きる児童生徒の育成を図る」

小中一貫教育のねらい

小中の円滑な接続、教職員の意識改革、学校と地域との連携・協働などに取り組み、9年間の系統的な教育システムを構築していく。

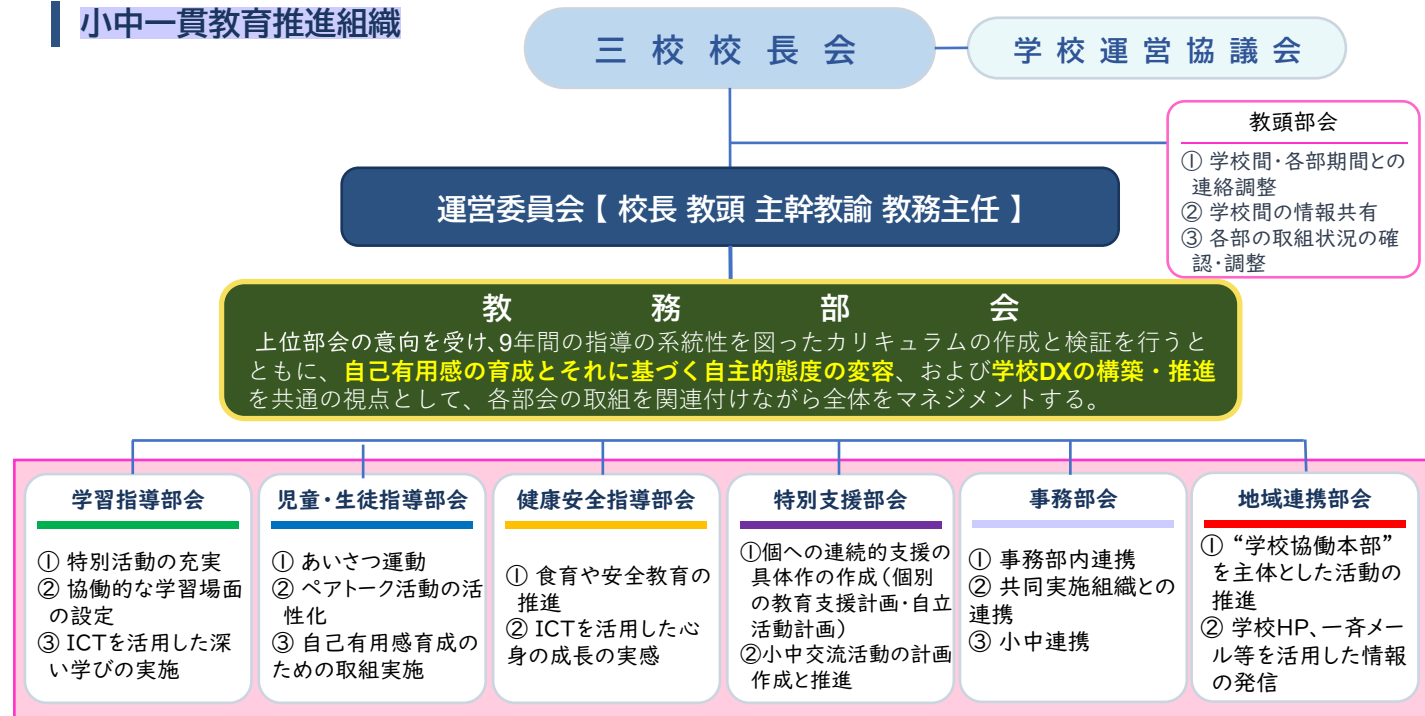
- 確かな学力の育成
- 豊かな心と社会性の育成
- 健やかな心と体の育成



大田原市小中一貫教育目標

9年間を見通して目指す子供像を共有し、子供たちの豊かな人間性、確かな学力・コミュニケーション力・社会適応能力の育成と向上を図る。

小中一貫教育推進組織

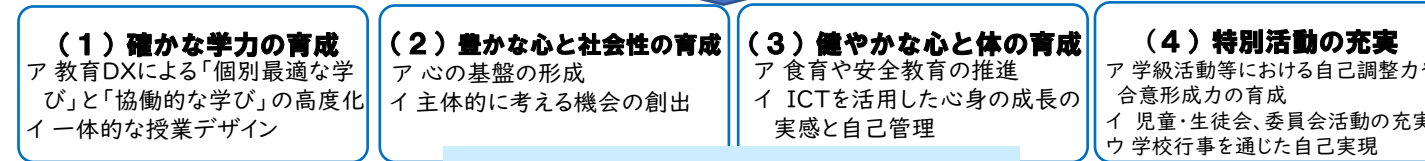


学校課題（研究主題）

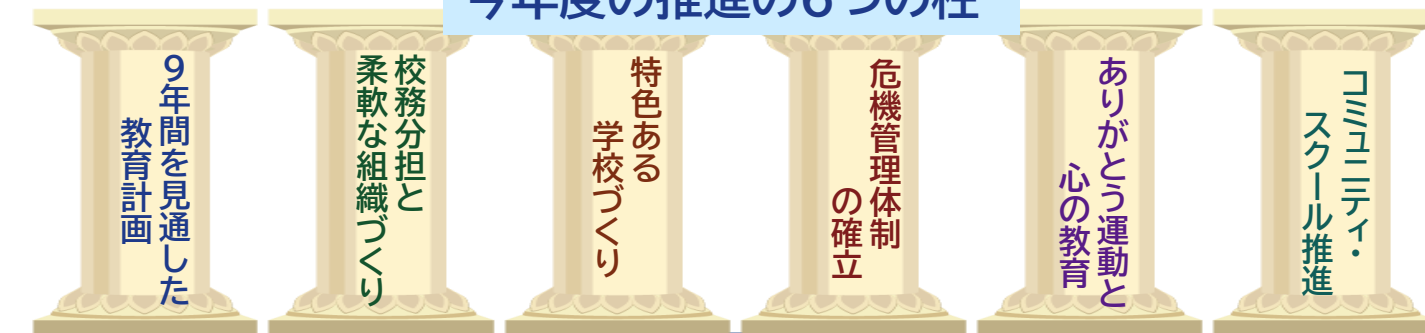
「主体性のある児童生徒の育成」～個別最適な学びと、協働的な学びの一体的な充実～

学校課題達成のため、今年度はさらに以下の2点を強化します

- ① 自己有用感を醸成することで主体性を育成
- ② 学校DXの推進(教育活動・校務・事務の全面展開)



今年度の推進の6つの柱



自ら学び、考え、判断し、表現する
社会適応力「生きる力」

9年間を見通した系統的な教育活動の推進

区分	前期（基礎期） 1～4年生（小1～小4）	中期（活用・定着期） 5～7年生（小5～中1）	後期（発展・充実期） 8・9年生（中2～中3）
学習態度	興味や関心をもって学ぶことができる。	学ぶ意味を理解し、主体的に学習に取り組むことができる。	将来の夢に向かって、自らの学びの質をメタ認知しながら学習を進めることができる。
表現する力	自分の気持ちや考えを表現できる。	自分の考えを分かりやすく表現できる。	自分の考えを理由や根拠を明確にしながら表現できる。
学び合い	お互いの考えの共通点と相違点を見つけながら話を聞くことができる。	伝え合うことで、自分の考えを広げ、深めることができる。	伝え合うことで、個人や集団の考えを深めることができる。
あいさつ	明るく元気なあいさつができる。	明るい学校づくりを目指して自ら進んであいさつができる。	明るい学校・地域づくりを目指して場に応じたあいさつができる。
規範意識	学級や学校のきまりを守ろうとする。	学校や社会のきまりを守り、礼儀正しく行動しようとする。	学校や社会のきまりを守り、適切な判断をし、行動しようとする。
自己有用感	自分の役割を果たせる。	友達や家族のために進んで役割を果たせる。	自分の役割を自覚し、地域のために貢献することができる。
運動習慣	休み時間には元気に外遊びができる。	運動活動に積極的に参加し運動に親しむことができる。	積極的に運動を取り入れ、体力の増進を意識した生活を送ることができる。
生活習慣	「早寝・早起き・朝ご飯」の生活リズムを守ることができる。	望ましい生活習慣を意識した生活ができる。	健康な体を維持するためにバランスのよい食事と睡眠時間の確保を心がけて生活できる。
心の安定	友達と仲良く、学校生活を送ることができる。	他者を思いやりながら学校生活を送ることができる。	自分に合ったストレスの対処法を考えることができる。